

「能登の里海ムーブメントー海と暮らす知恵を伝えていくー」刊行記念シンポジウム

さまざまな仕事を通じて支えあう



漁師だけではない！ 私たちも支えられる！

当日ご来場の方に
本をプレゼント！

2017年6月10日（土） 13:00～17:00

国連大学5階 エリザバス・ローズ ホール

(東京都渋谷区神宮前5-53-70)

【主催】国連大学サステナビリティ高等研究所 いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット (UNU-IAS OUIK)

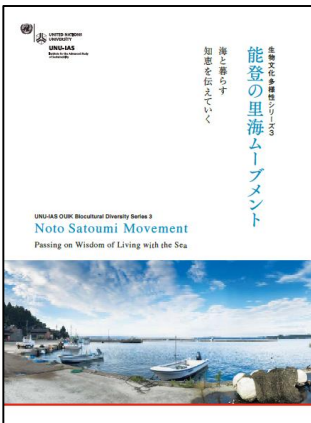
【共催】地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)、世界農業遺産活用実行委員会 他

【言語】日本語

【参加登録】参加無料、一般公開

【参加申込】 <http://ouiik.unu.edu/events/1205>

【お問い合わせ】 Email: unu-iasouik@unu.edu / Tel: 076-224-2266



「能登の里海ムーブメントー海と暮らす知恵を伝えていくー」ウェブ版の無料閲覧・ダウンロード:

http://ouiik.unu.edu/wp-content/uploads/OUIK_Noto_Satoumi_Movement_WEB_Version.pdf

開催内容

2011年に国連食糧農業機関（FAO）より世界農業遺産として認定された石川県能登半島では、現在でも多くの人々が、里山と里海が隣接する地域ならではの「半農半漁」の生活を営んでいます。海と生きる伝統的な知恵を継承し、海と関わるさまざまな仕事をする人々はお互いに支えあいながら、能登の豊かな里海環境、温かいつながりの残る地域を維持しています。本シンポジウムでは、能登の里海を生業の場とする方たち、全国の里海づくりで活動されている専門家と一緒に、持続的な里海づくりについて考え、議論します。

プログラム

開会の挨拶

UNU-IAS OUIK所長 渡辺綱男

13:00~13:05

基調講演

「『能登の里山里海』からみる森里川海のつながり」

UNU-IAS上級客員教授・東京大学特任教授 武内和彦

13:05~13:35

報告

「能登の里海ムーブメント」

UNU-IAS OUIK研究員 イヴォーン・ユー

13:35~14:00

14:00~14:10

<休憩時間・写真撮影>

第一部：「能登の里海」を支える仕事

14:10~15:10

講演

「伝統的なボラ待ちやぐら漁の復活と継承」

穴水町新崎・志ヶ浦地区里海里山推進協議会会長・漁師 岩田正樹

講演

「能登の里海藻場の現状」石川県水産総合センター 池森貴彦

講演

「海を支えるダイビング業と高校生の潜水活動」

日本航空高等学校石川教諭 須原水紀

対談

「里海を支える輪島の女性たち」

輪島の海女漁保存振興会会長・海女 池澄幸代 × イヴォーン・ユー

15:10~15:25

<休憩時間>

第二部：パネルセッション「里海づくりを支える^{なりわい}生業」

15:25~17:00

モデレーター

UNU-IAS OUIK所長 渡辺綱男

パネリスト

「岡山県日生のアマモ場の再生とカキ養殖の活用」

NPO法人 里海づくり研究会議理事・事務局長 田中文裕

パネリスト

「震災からの海の再生と水産業の復興～南三陸の事例より～」

デザイン・バル代表 太齋 彰浩

コメンテーター

「農業遺産における里海と里川：研究の国際的意義」

東京大学大学院農学生命研究科教授・

農林水産省世界農業遺産等専門家会議委員 八木信行

閉会の言葉

石川県農林水産部里山振興室長 山下吉明